

芸術部の足跡

芸術部顧問 長谷川 友子

1 はじめに

本校の「芸術部」は「美術部」と「文芸部」、そして時には「書道部」の活動も行う複合型文化部です。いつも美術室に籠もって活動しているため、先生方にも、生徒たちにも、あまりその実態を知られていませんが、今回この原稿を記すにあたって、私が芸術部顧問として過ごした2年間の生徒の取り組みの一部をご紹介します。

2 足跡

(1) みやぎ総文2017

平成29年8月2日（水）から4日（金）にかけて、宮城県仙台市で開催された全国高等学校総合文化祭「みやぎ総文2017」に、芸術部2年（当時）の本田優花が茨城県の代表として参加しました。1年次の秋に創作した詩を茨城県高等学校文芸部中央大会に出品したところ、茨城県の最優秀作品に選ばれ、次年度の総文祭に派遣されました。文化部のインターハイと言われる総文祭に参加できることを、本人はとても誇りに思っていたようです。



初日は文学散歩に参加し、宮城の風土に触れながら文学と歴史について研修しました。車中や散策にて他県から参加した高校生と交流を深め、翌日の分科会への動機付けを図りました。

2日目は部門別交流会・分科会に参加し、創作活動を行いました。参加生徒の作品をもとに、講師の先生の講評や助言を仰ぐことができ、大変有意義な一日を過ごすことができました。3日目の最終日は、報告会・記念講演会・講評会・閉会式に参加し、帰途に就きました。

この「みやぎ総文」でのさまざまな出会いを通して、本人の元来持っていた創作意欲がますます刺激され、その後も数多くの詩や散文の創作に励みました。その姿に触発され、他の部員たちも文芸分野に以前よりも興味を示すようになり、芸術部の活動の活性化に繋がりました。



【茨城県高等学校総合文化祭文芸部会「詩」部門最優秀作品】

水
二年 本田 優花

波が吠える
野性に生きる狼のように

波が吠える
世界に轟く雷のように

川を汚し
海を穢し
泉を枯らす

自然に手を上げる人間を戒めるように
波が吠える

時には干ばつを起こし
人々に水のありがたみを教えた

時には洪水を起こし
人々に水の恐ろしさを教えた

波は幾度となく人里を荒らし
自然を守ってきた

波が吠える
大地に噴き出るマグマのように

波が吠える
天に巻き上がる風のように

波は吠える
強く
激しく
龍神として

今日もまた
波は吠える
愚かな人間へむけて

(2) 蒼星祭

次に本校の文化祭である「蒼星祭」への取り組みについて記したいと思います。平成29年度は校内発表、平成30年度は一般公開があったため、それぞれの年度において早い段階から創作活動を開始しました。

活動の内容は、芸術部の部誌「序章」の原稿作り、展示用の絵画や書の制作、入場門のデザインと製作、レジン体験の準備など多岐に渡りました。平成29年度と30年度は部員が15名を超える大所帯だったため、毎日賑やかに取り組んでいました。



(左上) 生徒がデザインした入場門です。ベニヤ板に絵を描くのが難しく、悪戦苦闘しながら仕上げました。

(右上) 水彩画や油絵の他にも、傘に絵を描く「傘アート」や書の心得がある者は書道にもチャレンジしました。

(左下) 生徒たちの絵画作品です。



(上) レジン体験の様子

(左) 来場者に説明をする部長

蒼星祭当日は、たくさんの来場者があり、部活動の成果を見ていただくと同時に、レジン体験を楽しんでいただきました。レジンとは透明な液体状の樹脂のことで、それに色を付けたりチャームやラメを入れる事で宝石のようなオリジナルアクセサリーを作る事が出来ます。蒼星祭では、その作り方を部員が来場者に教えてあげたり、一緒に作ったりすることで、たくさんの方と交流することができました。普段は限られたメンバーとしか作業していないので、このような機会が生徒たちの学びの場にもなったと思います。来場者アンケートでは、このレジン体験がとても好評で、今後も続けて欲しいといった声が多く、企画した生徒たちも喜んでいました。

(3) 県南高等学校連合美術展

芸術部員が1年間の活動の中で大きな目標としているのが、県南高等学校連合美術展です。この美術展は毎年11月から12月ごろに開催されるため、部員たちは夏休み中に作品に取り掛かります。水彩画や油彩画を描く生徒がほとんどですが、なかにはちぎり絵や立体作品に取り組む者もいます。出来上がった作品は、県立つくば美術館に他校生の作品とともに展示されるため、生徒たちの筆にもおのずと力が入ります。



展示の準備



生徒作品



生徒作品



展示期間の最終日には鑑賞会があります。他校生とグループになって、それぞれの作品の講評をします。自分の作品を自分で解説し、他者に批評してもらうことによって、作品を客観的に見つめることができるようになります。参加校の中には美術科のある学校などもあり、完成度の高い作品が数多くあるため、本校生徒は気後れするようですが、それでも必ず一人一作品は出品し、芸術部員としての矜持を保っています。

(4) その他の活動

活動実績として以下のようなものがあります。

- ・全国高校生短歌大会短歌甲子園への応募（平成28年度は全国大会出場）
- ・第20回関東地区高校生文芸大会実行委員会
- ・茨城県芸術祭参加短歌大会 1名入賞
- ・第11回茨城空港ゆめ未来芸術展 中高生の部 金賞・銀賞
- ・「Ecolife 2019」パンフレットのイラスト 2名入選
- ・いきいき茨城ゆめ国体 手作りのぼり旗制作 など

3 おわりに

中央高校芸術部は複合型文化部と最初に述べたとおり、さまざまな芸術の分野にチャレンジしています。その根底には生徒の旺盛な好奇心があるのはもちろんですが、副顧問の大内先生や事務の寺澤さんが深く関わってくださったことが、ここまで沢山のことに挑戦できた理由だと思います。美術の専門の指導者がいないことが課題点ですが、美術講師のお力をお借りしながら、今後も多くの芸術作品を遺してもらいたいと考えています。